桑原志織さん応援レポート

フレッシュ名曲コンサート
ベートーヴェン「田園」
2016年11月19日（土）
きゅりあん大ホール

クラシカルかつ正統派プログラムでの演奏会

フレッシュ名曲コンサート。著名指揮者、一流オーケストラとのコンツェルト（協奏曲）の演奏など、若手演奏家に貴重な演奏機会を提供するシリーズである。本日は大井剛史氏の指揮、東京フィルハーモニー交響楽団との共演。
桑原さんはソリストとして、リストのピアノ協奏曲第１番を弾く。

管弦楽の東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年創立。日本のオーケストラでは最も長い歴史を誇り、高水準の演奏活動で名高いオーケストラである。 今年９月の財団45周年記念コンサートにもご出演いただき、アンドレア・バッティストーニ氏の指揮のもと、素晴らしい管弦楽を聴かせてくれたのも記憶に新しい。

会場の「きゅりあん」は、東京・品川区の総合区民会館。一般公募により選ばれた愛称「きゅりあん」は、ラテン語の「集会所」を意味する「キュリア（curia）」が語源の造語。『人が集まり、ふれあうように』との願いを込めてつけられたそうだ。

８階に位置する大ホールは、様々な催物を可能とする多目的ホール。ワンスロープ型の客席は1,074席あり、広くゆったりとした空間が確保されている。

フレッシュ名曲コンサートは、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京文化会館）が、都内の区市町村及び区市町村の指定する団体との共催により実施するコンサート。地域で身近にクラシック音楽等の名曲に親しむ機会を提供し、併せて東京音楽コンクール入賞者をはじめとする新進演奏家の発掘・育成を図ることを目的として開催されている。
なお江副記念財団は2016年度の助成事業として「東京音楽コンクール」を支援している。

優美にかつ堂々とオーケストラと奏で合う

プログラムはコントラバス・白井菜々子さんのヴァンハル「コントラバス協奏曲 」でスタート。18世紀に活躍したウィーン古典派の作曲家の作品。コントラバス独特の音色が重々しい雰囲気を醸し出す。

続いて桑原さん登場。淡い色に金糸のドレスもクラシカル。ゆったりとピアノに向かい、リスト「ピアノ協奏曲第１番」の演奏が始まる。「・・・リストがこの曲に着手したのは19歳の時、おそらくフランスの社交界で大変に人気を博していた頃と思われます。その後、長きに渡り手直しを繰り返して完成させた作品です。ファンタジーに溢れ、華やかに盛り上がる名曲ですが、テーマのモチーフには、あまり変化がありません。真面目に弾いてしまうと全く魅力のない曲になってしまうので、練習の際は、いかにキャラクターを表現するか、直前まで苦労していました」と話してくれていたが、優美な雰囲気を漂わせながら、堂々の演奏。随所に登場するピアノの大小多彩なカデンツァ（オーケストラの伴奏を伴わないピアノソロ部分）も、やわらかく美しく。オーケストラとも落ち着いて奏で合い、見事な演奏を聴かせてくれた。

大きな拍手に応えてのアンコールは、ショパンのエチュード「エオリアンハープ」。しっとりと軽やかな音色。本プログラムとはまた異なる演奏で魅せてくれた。

写真ご提供：品川文化振興事業団

自分にできることは、いい演奏を用意しておくこと

写真ご提供：品川文化振興事業団

終演の後日、桑原さんに話を聞いた。実はこの演奏会の翌日も、同じリストのコンツェルトが予定されていた桑原さん。同じ曲ではあるものの、異なるマエストロ、異なるオーケストラとの組み合わせ。話は自ずとリハーサルも含めた怒涛のスケジュールに。

ー心構えも大変だったのでは；
「・・・たしかに同じ曲を二日間、異なるマエストロ、異なるオーケストラでというのは、なかなかないことです。でも、心持ちとしては、特に違いはありませんでした。その日に向けて、その曲を練習する。いつもどおりでした。マエストロが違う、オケが違うといっても、合わせてみるまで自分ではどうにもならないので。自分はいい演奏を用意しておいて、あとはリハーサルでなんとかするしかないなと。」

ー演奏を終えてみて；
「・・・古典の形式にのっとったコントラバス協奏曲、ラストは「田園」という構成。私が弾いたリストも、リストとはいえロマン派の若い頃の作品でしたので、いわばクラシックの正統派のプログラム。指揮の大井先生もお人柄が穏やかで包み込んでくださるタイプの方。作品の持つ『品』を大切にされていらっしゃると感じましたし、私のコンツェルトもそういうタイプの演奏になったように思います」
ハードな設定にも気負うことなく平常心で向かう桑原さん、『ピアノの道を志す前から、わりと緊張に負けないタイプ』との言葉に納得だった。

桑原さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

＜演奏会概要＞
◆出演
指揮：大井剛史
コントラバス：白井菜々子＊＊
ピアノ：桑原志織＊
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

◆プログラム
ヴァンハル：コントラバス協奏曲 ニ長調＊＊
リスト：ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124/R.455＊
ベートーヴェン：交響曲第6番 ヘ長調 op.68「田園」

◆ソリスト・アンコール＊
ショパン：エチュード第13番変イ長調Op.25-1
「エオリアンハープ」

【コンサート・フライヤー（表）】

【コンサート・プログラム】

フレッシュ名曲コンサート
ベートーヴェン
「田園」
公益財団法人東京都歴史文化財団（東京文化会館）では、都内の区市町村及び区市町村の指定する団体との共催により、「フレッシュ名曲コンサート」を実施しています。
この事業は、都民の皆様に身近な地域で気軽にクラシック音楽等の名曲に親しんでいただく機会を提供し、併せて新進音楽家の発掘、育成を図ることを目的として開催するものです。
皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。
公益財団法人東京都歴史文化財団（東京文化会館）
品川区民芸術祭 2016 関連事業
フレッシュ名曲コンサート
ベートーヴェン
「田園」
平成28年11月19日（土）
開場14:30 開演15:00
きゅりあん 8F 大ホール
（JR大井町駅前）
主催 品川文化振興事業団 ／ 公益財団法人東京都歴史文化財団（東京文化会館）
企画協力 東京オーケストラ事業協同組合

【コンサート・プログラム】

PROGRAM　解説＝鉢村 優

ヴァンハル／コントラバス協奏曲 ニ長調

ヴァンハルはウィーンで活躍したチェコ人の作曲家。ハイドン、モーツァルトの同時代人で、一緒に弦楽四重奏を演奏するなど直接の交友もあった。74年の生涯で少なくとも700以上の作品を残した多作家であり、特に交響曲作家としての評価が高い。

この作品はコントラバス協奏曲の中で最初期のものの一つ。1773年に書かれた。18世紀以来ハイドンをはじめとする多くの作曲家がコントラバス協奏曲を書いたが、ヴァンハルの作品は現代まで高い人気を誇っている。その理由は、親しみやすい旋律はもちろん、聴き手にはコントラバスという楽器のイメージを覆し、演奏者には挑戦意欲をかき立てるような超絶技巧にあるだろう。彼のコントラバス協奏曲がそうした性格を持つのは、名コントラバス奏者で作曲家のディッタースドルフに師事したからかもしれない。

なお、コントラバスは15世紀後半にその祖先が登場したが、楽器の設計や弦の張り方、調弦に様々な流派があり、19世紀にやっと現在の形に落ち着いた。そのため当時の人々にとっては実際的であっても、現代には演奏不可能に見える楽曲も多い。地道な研究によって歴史とレパートリーが少しずつ解明されているが、いまだ多くの謎が残されている興味深い楽器である。

リスト／ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調

リストは9歳にして初舞台を踏んだ早熟の天才。空前のスター演奏家の登場に世間は沸き立ち、彼の名を冠したグッズが飛ぶように売れたという。しかしリストは単なるアイドルではなかった。ウィーンの宮廷楽長サリエリに師事し、ベートーヴェンの孫弟子であり、その他多くの音楽家から優れた教育をうけている。彼は自身のテクニックを活かす華麗な曲を書いたが、それを各地で演奏することによって、彼のみならずピアノという楽器の可能性を広く世に示すことになった。リストはそれまでのピアノ音楽を集大成し、19世紀以降ピアノがたどる道を開いた画期的な作曲家といえる。

この協奏曲は1830年、リスト19歳の年に着手されたが、忙しい演奏活動のためか作曲は中断され、完成に20年弱の歳月を要した。一般的な協奏曲とはちがい4楽章で構成されているうえ、全曲が切れ目なく演奏されるところが野心的である。第1楽章はフルオーケストラによる堂々とした総奏で幕を開けるが、すぐに長大なピアノソロに移る。まるでピアノの音色を純粋に楽しむ機会を聴き手に与えているようである。第2楽章は弦楽器の繊細な音色が魅力的。そして、この作品を最も特徴付けるのが第3楽章である。踊りだすようなリズム感にあふれ、トライアングルの響きも軽やかに丁々発止のアンサンブルを繰り広げる。第4楽章はそれまでに登場した印象的な旋律を呼び戻し、自在に展開して堂々たる結末を迎える。

ベートーヴェン／交響曲第6番 ヘ長調「田園」

ベートーヴェンは「新しい曲を書くたび、新しい挑戦をした」という。「田園」の最も大きな挑戦は、具体的な情景を音楽で表現する試みである。音楽の内容を示す標題が5つの楽章それぞれにつけられているほか、自然の音を模倣する表現が多く盛り込まれている。第2楽章の最後では、鳥のさえずりが木管楽器のアンサンブルで描かれる。フルートはナイチンゲール、オーボエはうずら、クラリネットはカッコウと、楽譜には鳥の名前まで指示されている。それぞれの鳥の特徴を捉え、まさに森で歌い交わしているような表現には驚くばかりである。第4楽章の、金管楽器やピッコロ、ティンパニを駆使して表現される嵐の凄みも聴き逃せない。悪天候を思わせる不穏な静けさから始まり、徐々に音量が増して稲妻が光る。コントラバスやチェロのうごめく低音も恐ろしさをかきたてている。嵐をやり過ごすと、神に感謝する祈りの第5楽章へ切れ目なく続く。

「田園」は交響曲第5番「運命」の完成直後に書き始められた。極度の緊張感をもつ「運命」と、のどかな印象の「田園」は、まったく両極端な作品に思える。しかし両者はともに「作品の有機的統一」をめざして書かれた双子の交響曲である。「運命」は、1つの動機から作られた主題の群れが緊密に組み合わさっている。「田園」は「運命」よりいくぶん自由に、いくつかの動機を展開することで多様な表情を生み出している。

※曲目は変更になる場合があります。

PROFILE

指揮　大井 剛史　*Takeshi Ooi, Conductor*

東京藝術大および大学院にて松尾葉子氏に師事、故若杉弘、故岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラヤチェフスキーの各氏から指導を受ける。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2009年から2016年3月までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の常任指揮者を務め、楽団の発展に尽力した。現在、山形交響楽団正指揮者、東京牧成ウインドオーケストラ正指揮者を務め、このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。

新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。08年アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクール第2位。

尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

コントラバス　白井 菜々子　*Nanako Shirai, Contrabass*

神奈川県横須賀市出身。15歳よりコントラバスを始め、高群誠一氏、星秀樹氏に師事。2008年桐朋学園大学音楽学部音楽学科に入学。2010年より4年間ウィーン国立音楽大学にてJose Niederhammer氏の元で研鑽を積む。2014年に帰国し、現在、東京音楽大学大学院修士課程にて星秀樹氏に師事、特別特待奨学生として在学中。2012年ドイツのカールフレッシュアカデミーにてJanne Saksala氏のマスタークラスを受講、選抜ソリストとしてフィルハーモニー・バーデンバーデンと共演。第4回 International Competition "Giovani Musicisti-Citti di Treviso"第1位。第13回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第3位。第19回コンセールマロニエ21 第1位。第13回東京音楽コンクール弦楽部門第3位。第86回読売新人演奏会に出演。

ピアノ　桑原 志織　*Shiori Kuwahara, Piano*

1995年生まれ。2014年第83回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞（聴衆賞）。2016年第62回マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクール第2位、最年少ファイナリスト賞。東京藝大附属高校在学中に、第10回東京音楽コンクールピアノ部門第2位、PTNA特級銀賞・聴衆賞、ルーマニア国際音楽コンクール第1位等を受賞し、活動の場を広げる。2014年度ヤマハ音楽奨学生。福田靖子賞優秀賞。これまでに、東京フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京シティ・フィル、北チェコ・テプリツェフィル等と共演。各地でリサイタルの他、ウィーン、ホノルル、プラハ等の演奏会や音楽祭に招かれ好評を博す。東京藝術大学3年在学中。伊藤恵氏に師事。江副記念財団第44回奨学生。東京藝術大学宗次徳二特待奨学生。

管弦楽　東京フィルハーモニー交響楽団　*Tokyo Philharmonic Orchestra*

1911年創立。日本で最も長い歴史と伝統を誇るオーケストラ。約130名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者にアンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。

定期演奏会を中心とする自主公演のほか、新国立劇場を中心としたオペラ・バレエ演奏、NHK他での放送演奏など、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、最近では2015年12月に日韓国交正常化50周年を記念しソウルと東京の2都市でチョン・ミョンフン指揮のもとソウル・フィルハーモニー管弦楽団と合同演奏会を行い、国内外の注目を集めた。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。また東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト　http://www.tpo.or.jp/　公式Facebook　https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic　公式twitter　https://twitter.com/tpo1911